

社会福祉法人 種の会 個人情報保護基本方針

個人情報保護規程（R7.12.9）

社会福祉法人種の会（以下「法人」）は、保育・福祉サービス事業を行う法人として、園児・保護者・利用者・職員等の個人情報を適切に保護することが、法人の重要な社会的責務であると認識しています。

法人は、個人情報の保護に関する法令等を遵守し、以下の基本方針に基づき、個人情報の適正な取扱いと安全管理の徹底に努めます。

1. 個人情報の収集と利用目的

法人は、事業運営に必要な範囲で、適法かつ公正な手段により個人情報を収集します。収集した個人情報は、利用目的の範囲内でのみ使用し、目的外利用は行いません。利用目的を変更する場合は、法令に基づき適切に公表します。

2. 個人情報の安全管理

法人は、個人情報の紛失、漏えい、改ざん等を防止するため、管理責任者および各施設の管理者を定め、組織的・人的・物理的・技術的な安全管理措置を講じます。

3. 職員の遵守義務と教育

すべての役職員は、在職中および退職後も個人情報を適切に取り扱う義務があります。法人は、職員に対し継続的な研修を行い、個人情報保護意識の向上に努めます。

4. 第三者提供について

法人は、法令に基づく場合を除き、本人の同意なく個人情報を第三者に提供することはありません。業務委託に伴い個人情報を提供する場合は、委託先に対し必要な契約・管理を行います。

5. 個人情報の開示・訂正等について

本人または代理人からの、自己情報の開示・訂正・利用停止等の請求には、法令に基づき速やかに対応します。

6. 苦情・相談への対応

法人は、個人情報の取扱いに関する苦情・相談の窓口を本部に設置し、迅速かつ適切に対応します。

7. 継続的な見直し

個人情報保護の取り組みは、社会情勢・法令改正・法人の運営状況の変化等を踏まえ、継続的に改善していきます。

情報セキュリティ基本方針

社会福祉法人種の会は、園児・保護者・職員等の大切な情報を安全に管理し、安心してご利用いただける法人運営を行うため、以下の方針に基づき情報セキュリティの確保に努めます。

情報の適切な管理

個人情報を含むすべての情報資産を、安全な方法で管理し、不正利用・漏えい・紛失等を防止します。

安全対策の実施

ネットワークやシステムへの不正アクセス防止、ウイルス対策などの技術的措置を講じ、必要に応じて専門機関と連携します。

職員の遵守と教育

職員等は情報管理ルールを遵守し、定期的な研修を通じて適切な取扱いを徹底します。

事故発生時の対応

万一の情報漏えい・紛失等の際は、速やかに対応し、被害拡大防止と再発防止を図ります。

継続的な見直し

社会情勢や技術の変化に応じて、本方針および管理体制を見直し、改善を続けます。